

平成18年度同窓会連合会役員会議事メモ

1. 期 日 平成18年12月9日(土) 午後3時～午後5時
2. 場 所 サンラポーむらくも 2階「八雲の間」
3. 内 容

議事に先立ち、本田学長(顧問)から、島根大学の近況等について報告があった。

議題1 「島根大学理事(医療担当・医学部附属病院長)の役員(評議員)への就任について」

山本代表幹事から、本年4月の運営体制の改編により、小林祥泰医学部附属病院長が理事に就任したことに伴い、同理事を他の理事と同様に評議員に就任をお願いしたいとの提案があり、異議なく承認した。

議題2 「今後の活動計画について」

山本代表幹事から、資料3に基づき説明があり、これを承認した。

議題3 「島根大学支援基金への募金協力について」

山本代表幹事から、これまでの審議・決定の経過等について、資料4に基づき、次の旨の説明があった。

- 本基金の設置については、経営協議会での承認を踏まえ、10月10日開催の役員会で最終決定したものである。
- その後、地元財界や同窓会関係者等に説明したところ、「交付金が少ないから支援してほしいでは、誰も援助しない」、「計画からは将来的展望が見えない」、「自助努力が必要ではないか」などの厳しい意見があったため、資料のとおり今後の方針を整理し、先ず、学外に先行して学内構成員に対し募金を開始するとともに、「元外国人教師宿舎の修復事業」は、「学生の修学環境の充実事業」とは分離して募金活動を行うこととした。
- 学外に対する募金活動は直ちには行わず、各界の意見を踏まえて事業内容を再検討し、島根大学支援基金委員会で最終結論を得たい。

種々審議の結果、上記原案を認めるとともに、今後の再検討を踏まえた結論を待って対応することとした。

報告事項1 「平成18年度における活動状況について」

山本代表幹事から、資料5～資料12に基づき報告があった。

報告事項2 「各学部同窓会の活動状況及び活動計画について」

山本代表幹事から、資料13に基づき報告があった。

その他「同窓生を活用した講義の開講について」

山本代表幹事及び本田学長から、次の旨の説明があり、種々意見交換の結果、同窓会として積極的に協力することとした。

○過日、同窓会関係者から、島根大学卒業者としての立場から、自分の卒業後の経験や実績等を在學生に講義するなど、彼らの将来に役立つような事業に協力したいとの意見が寄せられた。

○昨年度、島根県においては、本学學生への教育支援としてプロジェクト事業が行われ、非常に有意義であった。

○先輩の姿を見せることにより、學生の目標意識の向上やキャリア教育にもなり、極めて有意義ある。「教える先輩」や「ようこそ先輩」といった形で、「地域学」などについてぜひ在學生に話を聞かせてほしい。